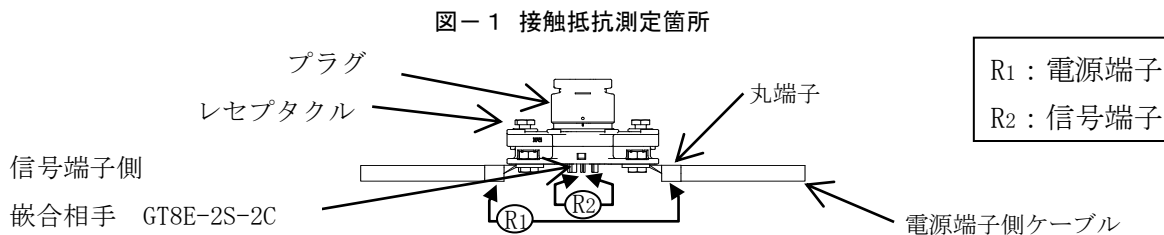
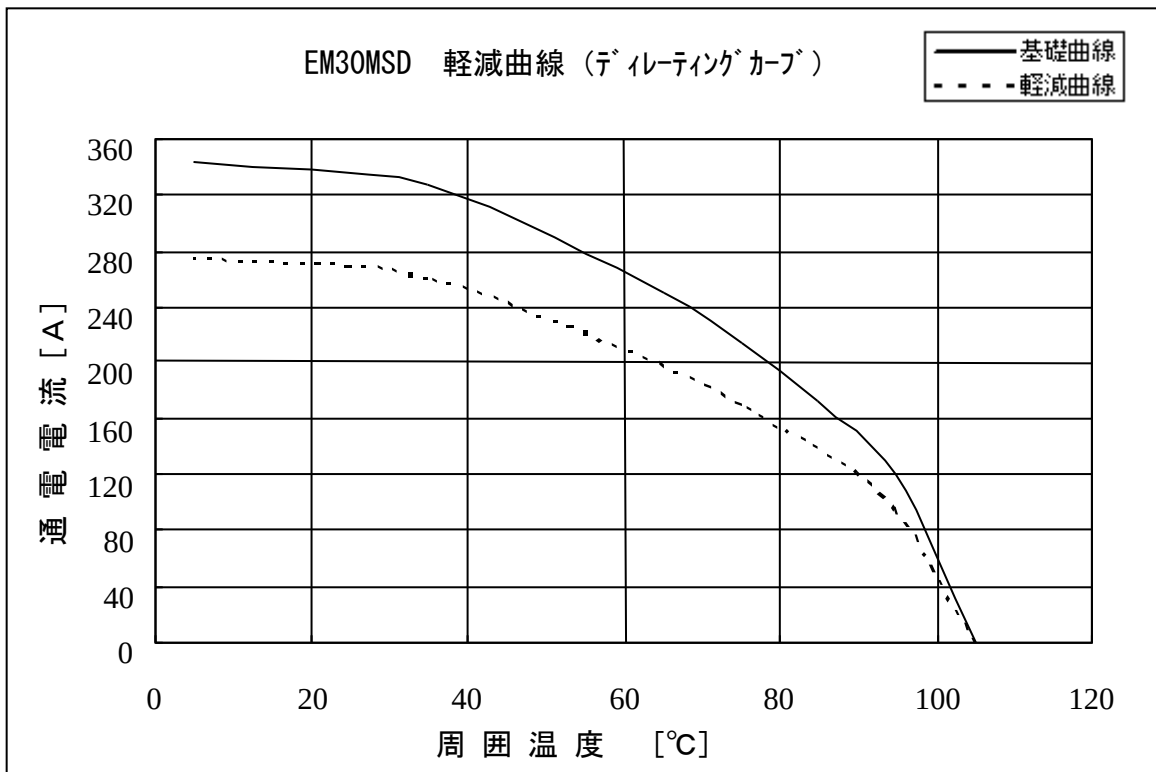


適用規格		TUV認定品 (J50385364), UL認定品 (E474564)			
定 格	使用温度範囲	-40℃ ~ +105℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃	
	電 圧	電源端子側: AC/DC 1500 V 信号端子側: AC/DC 250 V	_____	_____	
	電 流	電源端子側: 200A(2) 信号端子側: 1A	適合ケーブル (電源端子側)	100 mm ² 以上 (AWG#4/0以上)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗 (1)	単位コンタクトに DC 1A で測定する。 (電源端子間)	0.5 mΩ 以下	○	○
		単位コンタクトに DC 1A で測定する。 (信号端子間 (GT8Eコネクタ含む))	90 mΩ 以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 4500Vの電圧を 1min印加する。(電源端子側)	絶縁破壊がないこと。	○	○
		AC 750Vの電圧を 1min印加する。(信号端子側)		○	○
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。	(EM30コネクタ間) 挿抜力 100N以下	○	—
	繰返し動作	200 回の抜き差しを行う。 (EM30MSD-A プラグーレセプタクル間)	単位コンタクトの接触抵抗: 0.75 mΩ 以下 (電源端子間) 150 mΩ 以下 (信号端子間 (GT8Eコネクタ含む))	○	—
		30 回の抜き差しを行う。 (EM30MSD-Aレセプタクル - GT8Eコネクタ間)	単位コンタクトの接触抵抗: 150mΩ 以下 (信号端子間 (GT8Eコネクタ含む))	○	—
	耐振性①	周波数 10~55~10Hz/サイクル, 片振幅0.75mm, 5min/サイクルで3軸方向各10サイクル 試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性② (ランダム)	振動数範囲 10~2000Hz, 平均加速度 57.9m/s ² で3方向各8h試験する。 (ISO 16750-3、JASO D 014-3)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波3方向各3回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40℃ → 常温 → +125℃ → 常温 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 min. を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 5000MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度40℃, 湿度90~95 %中に96h 放置する。	①絶縁抵抗: 50MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	適合コネクタをかん合した状態で 濃度 5 %の塩水, 48 h放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食が ないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で水深2mlに 14days 放置する。 (防水性能: IP68/JIS C 0920:2003)	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内 部にエア一圧17.6kPaを30s加える。	コネクタ内部より気泡の発生がない こと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	TP. KOMATSU	20220805
注 (1). 接触抵抗の測定は次頁 図ー 1 に示す箇所 で測定する。 (2). ディレーティングカーブは次頁 図ー 2 を参照ください。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (JIS C 5402) を適用している。			検 図	HY. KOBAYASHI	20220805
			担 当	TY. SUZUKI	20220804
			製 図	TY. SUZUKI	20220804
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-119542-04-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	EM30MSD-A (04)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0138-0206-0-04	△ 1/2



[参 考]

図-2 ディレーティングカーブ



測定方法： レセプタクルに導体断面積100 mm²の電線を接続し、嵌合した状態で測定。

(※) ディレーティングカーブ、温度上昇カーブは、使用ケーブル等により変化し、同じ条件であっても測定毎に多少のバラツキがあります。従いまして、記載のものは保証値ではなく目安値となります。

注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目		図番	SLC-119542-04-00		
HRS	製品規格表		製品名	EM30MSD-A (04)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL0138-0206-0-04	△ 2/2